

藤棚新聞



第38号
発行
2014年(平成26年)
10月20日



ぶらり散歩で思わぬ発見

高野山真言宗 願成寺にて

植えられた樹木の調和が美しく、通るたびに気になっていた願成寺さんを訪れて境内を見せてもらいました。創建が約600年前とされています。桜、イチョウ、芭蕉等の木々に清涼感が漂います。

お寺に入るとすぐ右手にお地藏様が3体並んでいます。藤棚にあった延命地藏尊、岩亀横丁にあった子育て地藏尊、そして願成寺の日限地藏尊が合祀されています。

日限地藏尊とは、百日参りのように、日を限ってお参りすると願いを叶えてくれる意味なのだそうです。

境内には平沼亮三の他、たくさんの地元名士のお墓が並んでいます。奥の方へ入ると気になるお墓を発見しました。横浜開港間もない1860年代に二つの大きな事件が起きました。一つは「鎌倉事件」と言われる、鎌倉八幡宮そばの茶屋でイギリス士官2名を斬殺、いわゆる維新の志士と言われた清水清治、間宮一のお墓、もう一つは「フランス水兵殺害事件」と言われる、関内にあった遊郭で乱暴を働いていたフランス水兵を殺害した鳶職の亀吉(通称小亀)のお墓です。当時は「よくやった、正義を行った」という声も多かったそうで、今でもお花や、線香をあげている方がおられます。

ところで願成寺さんの日限地藏尊縁日は昭和初期から続いているのを知っていましたか?そして、私の記憶では昭和50年代ごろは4と9のつく日が縁日でした。その頃はあまりの混雑に必死に我が子の手を引いていたことを思い出します。(F)



伝統のへそ祭り 11月3日



ことしの伝統のへそ祭りは11月3日です。藤棚1番街の米山理事長は「今年は区制70周年でもあり、にぎやかに祝いしたい。へそ祭りの『へそ』の名に恥じないお祭りにしていくつもりです。」と抱負を語ってくれました。



気になるお店シリーズ

仁木三味線



以前に藤棚商店街のイベントで津軽三味線を演奏した仁木武志さんのお店を訪問しました。

仁木さんはおとうさんから三味線の製作と修理のお店を引き継いで10年経ちました。記者の質問に、三味線を弾きながら答えてくれましたが、他の楽器にはない音の迫力に圧倒され、このままずっと聞いていたい気分になりました。基本的に三味線の製造を行いながら、今は修理が主な仕事です。自分で弾くようになってからは、さらに音を深く追求

するようになりました。

実は仁木さんは、7年前までは本格的には弾いていなかったもので、一念発起して先生に師事し、2009年にはNHKの紅白で細川たかしのバックバンドとして望郷じょんからを演奏するまでになりました。今では三味線の組み立て完成後は音色の微調整に神経を使うと言います。

また、お店の仕事の一環として、自ら三味線教室を開き、三味線の構え方、持ち方、そしてバチのたたき方を教えながら、生徒さんには「ぜひ三味線を弾く面白さを感じて欲しい」と、年一回の生徒さんが発表するイベントを楽しみにしているそうです。

問い合わせ：仁木さん 713-4319

(F)

ゲートボール

みなとみらい杯第27回
10月4日、戸部公園
で28チームが参加、川
崎市のチーム、チャン
ス・メーカーが優勝。



ハローウィン

10月31日
藤棚商店会の有志
15:30~18:00
サンモール西横浜商店街
15:30から



健民まつり 10月12日



第2地区 / 西前小

第3地区

/ 稲荷台小



昔と今

神中坂の夏

昭和20年5月の大空襲で燃えるまで神奈川県立第一中学校(現希望が丘高等学校)がありました。



そこから藤棚交差点に下る道を「神中坂」と呼びます。ワンピースと日傘の白が眩しい夏の太陽を反射しています。

(F)

この町、この人 ゴミ拾いで清潔なまち 山崎日出樹さん



藤棚地域は商店街を初めとしていつも清潔な印象があります。今回はその気持ちの良い街を実現するためにまちのゴミを拾っている、久保町にお住まいの山崎日出樹さんを訪ねました。

山崎さんは、毎朝5時40分くらいから6時20分くらいまで雨の日は除いてほぼ毎日、通称へび坂を中心に地域と商店街にかかる道のゴミを拾っています。自分の健康のために道の掃除を始めようと思って、もう10年位やっているそうです。

ある朝、記者も同行させてもらいました。タバコのポイ捨てが目立ちます。ジュースの空き缶やおにぎりのビニール袋もありました。枯

葉は自然の趣があったりするので残しておきます。周辺の地区でもゴミを拾う人を見かけるようになって、10年前とくらべると随分きれいになってきたそうです。通る人と挨拶を交わすのも嬉しいと言います。

元建築家の山崎さんは、地域の久保町第一親和会の副会長や民生委員、青少年指導員を務めるかたわら、食事会(赤い靴)、シニア体操(はつらつクラブ)でも活躍されています。



彦根鉄砲隊による勇壮な祝砲



西区虫の音を聞く会

8月23日に掃部山公園
親交を深めた、にしまろ
ちゃんと、ひこにゃん

西中の傍

第3地区 第5回
2014
福祉フェスタ
10月4日(土) 10:00~15:00
場所:生活創造空間 にし



H & F
チョコバナナ!

<オープニング>
横浜国大付属
「和太鼓同好会」
の演奏

自転車と歩行者はともだち！ 自転車専用道路



気軽に乗れる自転車が見直されてきて、あちこちに自転車専用道路もできてきました。

みなとみらいの国際大通りには、西区の臨港パーク交差点から中区新港町のサークルウォーク交差点までの両車線に水色の線で示された自転車専用道路があります。

この線の上に自動車を止めることはできません。まだあまり知られていないためでしょうか、ある日曜日の午後、この線を走る自転車は見かけませんでした。でも走る自転車を想像するとわくわくします。



「あすなる」
による朗読
“三方一両損”

いざという時の役割は？

前向きな住民の防災訓練 第3地区



9月5日9時30分、生憎の雨にもかかわらず防災訓練が行われた会場の稲荷台小学校にはおよそ200名の地域の方がたが次々と集まってきました。

冒頭に天笠連合町内会長が「いざという時には、まずそれぞれの一時避難場所に集まってから、地域防災拠点のここに集りましょう。きょうは通信機のテスト、受水槽の操作の体験とスタンドパイプのデモをします」と挨拶。平井

稲荷台小学校長は「子どもたちにも自助、共助の力を育てています」と地域の力をアピールしました。

受水槽の操作は「大事なのは、水とトイレ」という関口久保町第4自治会長の指導で住民の方が体験しました(写真下)。

地域の福祉団体「みらい工房西」の人たちは、会場の床に輪になってランタンのチェックと充電を担当しました。また、住民の方は「役員がいなくても役割がわかるようにしたい」と前向きで、地域



が一体になった感じの防災訓練でした。



Eメール: fujidananp@m.jcnet.jp
FAX: 045-895-0081

投句 当季雑詠で一人2句まで、氏名、連絡先を記載して。次回締切は十一月二十日。巻頭句には粗品を進呈。

天高く空気の澄む秋はスポーツに適して、幼稚園や学校の運動会は秋季に行われる。一句目、孫の視線で詠われているところが新鮮で良い。

《寸評》

- 運動会祖父の出番の気遣はれ 小野元夫
- 十月の雲の誘う岬かな 今吉正枝
- 読書の秋大きな文字が優しく 柴田喜代子
- 富士山と百万本の百日草 小林貴美
- 新涼や街の様子も一変す 後藤瑞枝
- ガラス皿四角にカットメロン盛る 小泉道子
- 甲州のとうもろこしの甘き味 中澤明子

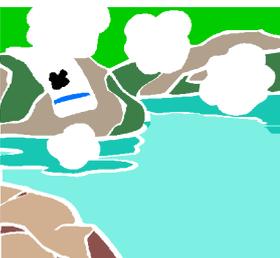
藤棚俳壇 選者 三村凧彦

 **朝日湯** 

体をあたため
ころをほぐす

営業時間 15時 - 23時

中央二丁目44-6
TEL 321-5472



ENJOY SPORTS
SPORTS WEAR&GOODS
マルキ運動具店

PHONE: 045-321-2431
FAX: 045-321-2425
E-MAIL: maruki-ut@mtf.biglobe.ne.jp

藤棚商店街 西前銀座内
火~土 10:30~19:00
日・祝日 10:30~18:00
定休日 毎週月曜日



“藤棚新聞ではみなさまからの広告をお受けします。3000円/1コマ” 【発行】藤棚新聞 〒220-0053 横浜市西区久保町17-2
<http://www1.ttmy.ne.jp/fujidana/>
【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@m.jcnet.jp